

2026年4月12日 復活節第2主日 礼拝次第

主日礼拝

前奏 (黙想)

招きの言葉 民数記13章1~3節(旧約233 ㊦)

讃美歌 325(キリスト・イエスは)

主の祈り <A>(讃美歌93-5)

詩編交読 詩145編1~13節(交読詩編162 ㊦)

聖書 ヨハネによる福音書20章19~31節(新約210 ㊦)

祈禱

讃美歌 498(道、真理、命)

説教 「命を受けるため」 田中雅弘牧師

讃美歌 552(若い日の道を)

信仰告白 使徒信条<A>(讃美歌93-4)

献金

讃美歌 88(こころに愛を)

派遣祝福

後奏 (黙想)

報告

※讃美歌は原則として全節を歌います。

主の祈りA(讃美歌21 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみだし

日ごとのわざに つかわしたまえ

んじのものなればなり。 アーメン。

聖書 ヨハネによる福音書20章19~31節

イエス、弟子たちに現れる

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。20 そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

イエスとトマス

24 十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。25 そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」26 さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」28 トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。29 イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

本書の目的

30 このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさしたが、それはこの書物に書かれていない。31 これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

讃美歌325番

1. キリスト・イエスは ハレルヤ、  
よみがえられた ハレルヤ。  
勝利をうたい ハレルヤ、  
み名をたたえよう ハレルヤ。
2. 土十字架にかかり ハレルヤ、  
死んで死に勝ち ハレルヤ。  
生きていのちを ハレルヤ、  
イエスは与えた ハレルヤ。
3. イエスの十字架は ハレルヤ、  
われらの救い ハレルヤ。  
天の使いと ハレルヤ、  
声をあわせよう ハレルヤ。

讃美歌498番

- 1 道、真理、命  
天に至る道、  
和解の真理、  
死に勝つ命の主イエス。
- 2 まことの光、  
天上の宴、  
いやしの力、  
この世に来られた主イエス。
- 3 尽きぬ喜び、  
限りない愛、  
ひとつの心、  
すべてを与える主イエス

讃美歌552番

- 1 若い日の道を 歩まれた主よ、  
お導きください、わたしたちを。
- 2 真理への道と なられたイエスは  
招いておられる、今日この日も。
- 3 主を知る知識を いよいよ深め、  
互いの信頼 育てていこう。
- 4 心を燃やして 主イエスを慕い、  
思いを深めて 主にしたがおう。
- 5 主はわたしたちの 心をむすび、  
愛という律法で 導かれる。
- 6 すべて学ぶもの、教えるものの  
主であるイエスの名 ほめたたえよ